



ドクター板東の メデイカルリサーチ

Vol. 54

～調整は 言葉と感性 経験で～

<http://hb8.seikyuu.ne.jp/home/pianomed/>

先日、ギリシャの経済危機が世界を駆け巡った。ヨーロッパの通貨ユーロも揺れ動く。欧州連合(EU)諸国は今後の対応が重要となるだろう(表1、図1)。

EUの真中にベルギーがあり、議長国を務めるなど重要な役割を果たしている。初代EU大統領には、首相のHerman Van Rompuyが選出された(図2)。

ちょうど私はベルギーを訪問し、様々な背景や歴史を垣間見たので、触れてみたいと思う。

ベルギーとは

ヨーロッパの中央にベネルクス3国があり、ベルギー・オランダ・ルクセンブルクが含まれる。1815年〜1890年に再編・独立・割譲などを経て3国となった複雑な経緯がある。ベルギーは不思議な国と云えよう。フランス語、オランダ語、ドイツ語の3カ国語を使う。言語戦争による対立を繰り返してきた。また、ゲルマンとラテンというヨーロッパの2大民族

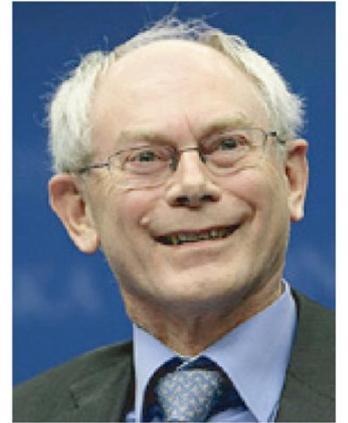


図2

が融合した国なのだ。つまり、民族や言語、文化的に欧州各国と共通の基盤が存在する。そのため、「ヨーロッパの心臓」とも呼ばれ、EU本部やNATOなどの機関が集積。歴史的

にも大国に挟まれてうまく生きてきた。調整能力に優れたDNAを持つ小国と考えられないだろうか。

実は、Van Rompuy 欧州大統領が俳句を詠んでいる。その内容を紹介したい。

Drie golven

rollen samen de haven binnen

het trio is thuis

「波が3つ

一緒に岸にあがり

やってきた」

EUで理事会の議長は、加盟国が半年ずつ持ち回り

表1 ユーロ16カ国の概観

国	導入年	旧通貨	人口(万人)	除外地域
オーストリア	1999	シリング	831	
ベルギー	1999	フラン	1067	
キプロス	2008	ポンド	77	
フィンランド	1999	マルッカ	529	
フランス	1999	フラン	6339	
ドイツ	1999	マルク	8132	
ギリシャ	2001	ドラクマ	1112	
アイルランド	1999	ポンド	424	
イタリア	1999	リラ	6002	
ルクセンブルク	1999	フラン	48	
マルタ	2008	リラ	40	
オランダ	1999	ギルダー	1647	
ポルトガル	1999	エスクード	1060	
スロバキア	2009	コルナ	539	
スロベニア	2007	トラール	201	
スペイン	1999	ペセタ	4511	

で担当する。したがって、「3つの波」とは、来年から半年ずつ議長国を努めるスペイン、ベルギー、ハンガリーの

Euro-Zone Countries at Risk

Half of the 16 euro-zone countries are deemed to be at "high risk" in terms of the sustainability of their public finances. See an overview of each country's economic data.

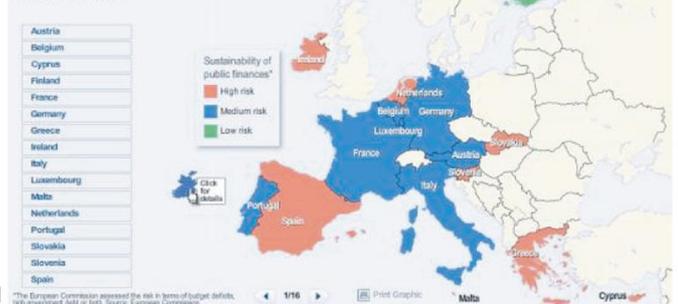


図1

3カ国を示す。

俳句は世界でも知られており、国際俳句交流会(HIA/Haiku International Association)も興味を示したという。ベルギーの首相を務めた経験に加え、国際的感性と調整能力を、今後期待したい。

首都ブリュッセル

首都ブリュッセルの中心には、大きな広場・グラン・プラス(Grand Place)があり、人々が集まる。近くには王立美術館や市立博物館、楽器博物館などが立



図4

ち並ぶ。
中でも興味深かったのは、カカオ・チョコレート博物館だ。単にチョコレート作りを説明するだけではない。カカオの貿易や経緯、途上国で働く若年層の諸問題にも触れている。
経済・社会的視点の解説も含まれ、なかなか意義深いものだった(図3, 4)。



図3

芸術のアントワープ

途中でアントワープを訪れた。本駅は国の重要文化財でもあり、欧州の中でも傑出して美しいと評判だ。(図5)。この町は、画家のルーベンスや「フランダースの犬」でも知られる。
ここで少し脱線するが、

鉄道体験を。オランダからベルギーへの移動の際、列車が遅れ、到着予想時刻が刻々変わった。プラットホームは非常に長く、図6のように、7aと7bと2つのホームとして使う。効率的可能かもしれないが、車両が止まる場所は一定せず、停車ごとに、多くの乗客が右往左往する始末だ。

さらに困ったことが。同じプラットホームに鈍行や

図5

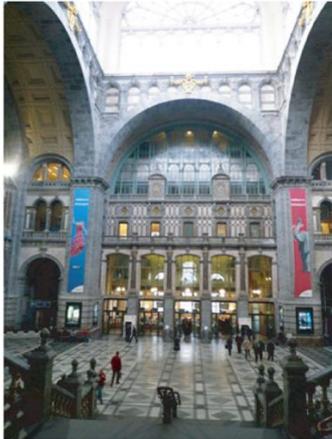


図6

ず、経済的發展が止まってしまう。

街並みに足を踏み入ると、数百年前にタイムスリップしたかの様子だ。せわしく追い立てられる日常とは異なり、人々は 0200 days の雰囲気ですつたりと時間を味わっているように思える。

私は5つの博物館や美術館を巡り、貴重な体験を。Hospitalier museum(病院博物館)における縁の品々に感銘を受けた。その中でも、宗教画に加え、心身を病む人々を癒している絵画から、心優しいスピリットが伝わってくる。

我々はいつも、日本の列車のように、正確な時刻で運行されていると思いがちである。でも、諸外国では全く状況が違う。

中世の古都ブルージュ

フランドルの「水の都」とされるのがブルージュ(Bruges)である(図7)。
12〜13世紀には欧州で第一の貿易港だったが、その後水路が沈泥で出入りでき



図7



図8

生まれたものだ。人を助け、役に立ちたいというボランティアの心が基盤にある。図8は、19世紀初頭、聖ヨハネ病院の薬局で薬剤を作っている光景を示す。

医学や医療、内科、薬はいずれも medicine と訳される。病気を薬で治すように、各国の経済を特別な薬で治療できないだろうか。諸問題を感知する心、相互理解と信頼、妥協と援助、調整能力と治療経験という複合的治療が特効薬となるかもしれない。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)